



第153号 平成27年9月11日発行
 株式会社 あさひ会計社
 三条市嘉坪川1丁目31番15号
 0256-32-7137

今月のテーマ

「スポーツ」



まさひろ としお
 樺 俊雄

お世話さまでーす。9月も始まったばかりなのに、すっかり涼しくなりましたね。例年のこの時期は日中なら30度をはるく超えるのがフツーでしたから、ちょっと拍子ぬけて感じます。暑ければ暑いで文句をいうくせに、はやくに涼しくなると、それはそれで寂しい気がします。ホント人って勝手なものです。さて、今日は9月10日なんですけど、日本列島を横断して温帯低気圧に変わった台風18号の影響で北関東から東北では、すさまじい雨が降っています。きのうも車中でTVを見ていると一日中この雨のニュースでしたし、日がかわっても雨は降りつづいて今日の午後には、とうとう茨城県の常総市で鬼怒川の堤防が決壊しました。

三条でも、かつて堤防の決壊を経験しましたが、常総市も大変ですね。500人以上が孤立しているようですよ、行方不明者も10名以上を数えています。ふだん、あまり大雨が降らない土地らしいですから、その不安と不便は50年に一度どころではないでしょう。

さきほど台風18号の影響といいましたが、もう少し詳しくいうと、いま日本列島の中央部上空にはマイナス10度前後の空気の固まり、いわゆる「寒冷渦」があり、それをはさんで西側(地図でいうと左側)には温帯低気圧になった台風18号、その南東(地図でいうと右下)には台風17号があって、それぞれから右回りに湿った暖かい空気がこの寒冷渦に流れ込んでいます。この2つの台風からの湿った空気は寒冷渦にぶつかって、つよい上昇気流を生み、激しい雨をもたらす積乱雲が発達しつづけているというワケです。

幸い、新潟県では阿賀野川流域で水位の上昇はありますが、本格的な被害はなさそうです。とはいっても、これからは危険回避のためにも気象にかかわる知識は必要ですよ。いつか気象知識をカンタンに理解できるように本があったら紹介します。それでは、また来月。



ふじた ひでき
 藤田 英樹

残暑に閉口していたのも束の間、我が家では朝晩に鈴虫の大合唱が聞こえるようになりました。朝起きて真っ暗で否応なしに季節の移り変わりを感じております。

さてスポーツといえば最近、東京五輪で競技と関係のないエンブレムやら競技場で騒いでいますね。まあ組織でいるんな利権が絡んでいることもあるのでしょう。ビッグスワンが8個も造れてしまう程の競技場計画など、私のようなものには理解できない世界なんだろうなあ、ちょっと冷めた目で見ています。せっかく五輪が東京で開催されるのですから、純粋なスポーツの祭典として楽しめるように準備していただきたいと願っています。そしてどんな競技でも良いので実際にトップ選手の活躍を見たいと思っています。



ながたに よしあき
 長谷部 良明

時間は大切にせべです。今月のテーマは「スポーツ」ということですが、先日中之口j rバレーが全国制覇したといううれしいニュースを聞きました。ご存じの方は少ないとおもいますが、

中之口は現在こそ政令指定都市ですが、以前は西蒲原郡中之口村です。コンビニも軒ようやく出来ました。白山まで通っていた路面電車は廃線、その代わりに一日数本の高速バスが走っています。そうです！そんな過疎地が私の生まれ故郷です。そんな地域のチームが全国制覇するなんて夢にも思わなかったです。またそこに参加していたメンバーが当時一緒にバレーした仲間の子供達でした。本当にびっくりしたのと、努力し続けた関係者の方々に敬意を表します。全国大会後すぐにチューブに決勝戦の様子がアップされていました。お陰様で、動画を見ながらおいしいお酒をいっぱい呑ませていただきました。本当におめでとう！



こばやし みのる
 小林 稔

いつもお世話になっております。今回は「スポーツ」ということですが、ここ数年、スポーツをするよりも見る方が断然多くなっています。とは言っても

テレビ観戦がほとんどですが、最近は甥っ子たちの野球やサッカーの試合を見に行くことが増えました。そんな試合

を見てみると、私がかつた頃と比べ応援にきている保護者の多さに驚きます。しかし、監督やコーチ以外の保護者の方から子供に対して厳しい言葉がかけられているところをよく目にします。言うのは簡単ですが、プレーしている本人たちにとっては難易度の高い指摘もあります。おそらく自分も同じようなことをするだろうと思いますが、そんなときに子供たちに対して、実際に自分のプレーで教えられよう、スポーツを「見る」よりも「する」機会を増やしていきたいと思っております。



まるはやし せいご
 丸林 誠吾

いつもお世話になっております。今月のテーマは「スポーツ」ですが、スポーツに関する最近の話題で、東京オリンピックのエンブレムの問題、結局デザイナーが採用取り下げを申し出たようですね。東京オリンピックですでにメインスタジアムの設計もやり直しになっていますし、使用中止になった大会エンブレムの使用料、メインスタジアムの設計料、エンブレムなんかもういろんなところで使われていますし、それらの無駄になったお金はどうするのでしょうか。これらのお金って税金から出ているんじゃないでしょうか。他の国でもこういった大きな大会を開催するにあたって四苦八苦しているニュースを見てきましたが、日本もこの有り様をみていると同じですね。いまは大会組織委員会に対する信用がかなり落ちていますが、56年ぶりの東京オリンピック、これからは上手に進めてほしいと思います。



やまもと まさあき
 山本 政昭

お世話になっております。今月のテーマは「スポーツ」。山本はいつものようにランニングについて書くんでしょ...という期待は裏切りませぬ！懲りずにランニングについて書きたいと思っております。

つい先日、ある個人飲食店のランニングイベントに参加してきました。飲食店でランニング？と思った方もおられるかもしれませんが、元気に過ごすためには食事と運動が大切というコンセプトのもと、ランナーでもあるオーナーの奥様が企画されました。

初のイベント開催で、かつフェイスブックのみの告知だけだったのですが、16人の参加がありました。「ナイトラン」と銘打って夜の三条の街を大勢で走ってきました。いつもの自分よりも早いペースでしたが、大勢の中で走ったため

か、そのペースに引っ張られて楽しみながらも速く走れたので、一人で頑張るよりも楽しくみんなで走るのもアリだなあと思ってしまいました。学生の頃と違って大勢でスポーツをする機会が多くないからこそ、意識的にこういったスポーツイベントに参加してみるのも良いかもしれませんよ！



あさい だいすけ
 浅井 大輔

いつもお世話になっております。このところ暑さも和らぎ秋めいてきましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

さて、今月のテーマは「スポーツ」ですが、10月に初めて新潟シティマラソンに参加することになりました。新潟シティマラソンは10キロ、ハーフ、フルの3コースがありますが、いきおいでフルマラソンにエントリーしてしまいました。ハーフすらろくに走ったことがないので、少し後悔していますが、せっかくの機会なのでなんとか時間を作って練習して完走を目指したいと思っております。



しぶき かずき
 渋木 一希

お世話になっております。今月のテーマはスポーツということで、陸上や器械体操なんかは得意ですが、球技はすごく苦手です。バレーでレシーブをすればボールはどこかへ飛んでいき、野球をすればボールはグローブに収まらず、バスケットでシュートを打てばエアボールです。サッカーは小学生の時からやっていたのでかろうじてできますが、基本的に球技は自分の頭の中でのイメージと実際に起こる事象がかみ合わず、学生時代の球技大会はかなりのピエロでした。



わかばやし さとる
 若林 悟

初めまして、若林と申します。9月に入社しました。燕市出身の33歳です。家の近所をぶらぶら散歩することが大好きです。子供の頃に、遊んだ場所や家が変わっているところを探したり、田んぼ道や川沿いの道を歩いていると心がリフレッシュされて癒されています。程よい運動にもなり、運動不足解消にもなっています。

会計事務所は初めてで、不慣れなことや分からないことが多々ありますが、先輩方からご指導を受け日々精進していきます。よろしくお願ひします。

テーマ
 スポーツ



武藤 洋子

急に秋らしくなったせいか、甘い物が食べたくなります。ただ前と違って、あまりクリームたっぷりのお菓子が食べられなくなりました。そんな年頃になったこと日々実感しています。

今月のお題“ スポーツ ”ですが、今の私にとっては耳の痛い言葉です。夏前あたりから、唯一のウォーキングさえも止めてしまいました。暑さに耐えられなかったのと、体力的にもきつくなったからです。これをきっかけに、少しでも体を動かすようにしたいです。



羽生 由美子

こしばらくの雨で夏の暑さも和らぎ朝はとくに寒さを感じるようになりました。気温差がありますので風邪などひかないよう体調管理に注意しないとイケないですね。子供の頃から運動が苦手なスポーツとは無縁に過ごしてきました。普通の生活も如何に動かずすまそうかとしているような気がします。このままでは足腰が弱くなるのも早くなりそう。

ウォーキングでもして少しは鍛えないといけないと思うのですが思えば思うほど重い腰がますます上がりません。



峯森 陽子

いつもお世話になっております。峯森です。夏休みも無事終わり、先週中学校の体育祭がありました。PTA参加種目で、軍団対抗綱引きがあったのですが、子供の通っている中学校は3つの軍(黄・青・赤)に分かれており、総当たり戦なので2回ずつ計4回縄を引っ張ってきました。何十年?かぶりにやったので腕や腰が筋肉痛になりました。結果は1勝1敗でした。やはり日々体を動かしていないとだめだなと思いました。これからの季節、運動するのにちょうどいいので、まず手始めにウォーキングなどから始めてみようと思います。

俊雄さんのおすすめ本



「運玉 見えないけれども誰もが持つ幸運の源」 桜井識子 東邦出版
著者の桜井氏は、いわゆるチャネラーなんでしょうね。すでに他界された故人とコミュニケーションがとれるといった人です。

ちょっとアヤシイのですが、欧米では証拠や目撃者を欠く殺人事件などにかかわるチャネラーは大勢いるらしいです。信じる、信じないは個人の判断ですが、私個人的には、あまり抵抗なく読めました。

チャネラーの真偽はそっちに置いて、運のよし悪しが人生を左右していることは誰もが認め得ることだとは思いますが、努力のワリには結果に恵まれない人もいれば、偶然の幸運に恵まれて成功を手に入れてしまう人もいます。成功という結果と努力というプロセスは、かならずしも因果律だけでは説明しきれませんよね。

そういう意味では、豊臣秀吉というのは努力も知恵もあつたでしょうけど、その人生は絵に画いたような強運の物語と言っていいでしょう。その秀吉に著者が豊国廟で著者がチャネリングを行うという話です。

結論からいうと、秀吉はもともと強運な星のもとに生まれたのではなく、いわゆるイメージ・トレーニングで強運を育てたようなのです。それが本のタイトルになっている運玉です。要は、ちょっとでもよい事があつたら、イメージのなかで「ありがとう、ありがとう」って言いながら運玉をなでたり、さすってあげる。それをつづけていくと、何年か後には、最初はビー玉くらいだった運玉がだんだんと大きくなって最後はスイカほどの大きさに育つんだそうです。

ちょっと話はかわりますが、意識とちがって無意識はコトバを理解できません。意識とはケタ違いのポテンシャルをもつ無意識に、自分の望みを伝えるには、望みを行動やイメージに換えて伝える必要があります。運玉のイメトレによって、いい事が起きたとき、それが自分の望みに沿った出来事だったとイメージすれば、無意識はその「いい事」を引き起こそうと、それこそ24時間、365日、力になってくれるのです。

まあ私の個人的な解説はさておいて興味があれば読んでみてください。この手のことに違和感のない人には参考になると思います。それでは、また来月。

テーマ スポーツ



いつもお世話になっております。以前このコーナーで数十年前ぶりに新潟にある自然科学館へ行った記事を書きましたが、今回は第2弾として先月自然科学館でチームラボ主催で開催された『team LabIsLands-学ぶ!未来の遊園地』についてレポートしたいと思います。



このイベントはTVでもCMされていましたが、子供が保育園でチラシをもらってきていたことと、夏休み限定の開催という事もあって、この機会に子供を連れて行ってきました。そもそもチームラボってなんだ!?っていいますと、プログラマや

数学者、建築家、CGアニメーター、Webデザイナー、グラフィックデザイナー、絵師、編集者などなど、多くのスペシャリストが集まって活動しているウルトラテクノロジストを自称している集団なのだとか。東京大学発のベンチャー企業としても知られているようですが、それだけだと何している人たちがよくわからないので調べてみると、デジタルとアートを融合させた試みを各地で行っているようで、江ノ島水族館でもナイトワンダーアクアリウムと題して夜の水槽にプロジェクションを投影して特殊なアート空間を創ったり、アメリカ・ラスベガスのベラージオの噴水でも歌舞伎とコラボレーションしたプロジェクションアートをやってたりして、どうやら全国(世界?)で空間デザインを中心に活動していて、その活動のひとつに『team LabIsLands-学ぶ!未来の遊園地』があります。

では、今回の『team LabIsLands-学ぶ!未来の遊園地』とはどんなものかといいますと、『最新のテクノロジーを使って、子供たちが同じ空間で、自由に体を動かし、互いに影響を与えながら、共同で創造的でアートな体験を楽しむ。そのような体験を通して、共同で創造していくことができる人間になってもらいたい、そういう願いから生まれた遊園地』ということ。その背景には、暗記重視で、クリエイティブな面は押さえつけられ、小さい頃から徹底して均質的な能力を伸ばすことに集中され、受験も個人で評価される現状の教育に対する危機感もあるようです。それでは、このイベントで実際に体験してきたアトラクションについて

まずはじめに、『天才ケンケンパ』です。これは、□にうまく乗ることができると、音が出たり、映像によって床が美しく映し出されます。同じ色や形に連続して飛び乗るとさらに美しくなるようにプログラムされているようです。うちの子はほぼストレートに進んであっという間に終わってしまいました。



つぎに、『光のボールでオーケストラ』です。ボールを叩くと、色が変わったり音が鳴ったりして、大きいボールが他のボールと連動しているの、一つ叩くと、周囲の他のボールも全部色が変わって、空間全体の色が変わっていきます。光るボールと、色のついた独特なこの空間自体が楽しい雰囲気を創っていて、子供たちはみんな夢中でボールを転がしていました。



つぎは、『お絵かき水族館』です。壁の巨大スクリーンに水族館をイメージした水槽が映し出されているんですが、なんとそこで泳いでいる魚たちはみんな子供たちがその場で描いたものでした。魚やクラゲ、タツノオトシゴの塗り絵が用意されていて、クレヨンで自由に色を塗ったり、顔を描いたりして、完成した絵をスキャナーで取り込むと、その絵が水槽に映し出されて、さらに描いた魚には動きもついて、本当に生きているかのように水槽を泳ぎ始めます!自分が描いた魚に触れることもできるんですが、触れるといっせいに逃げ出したり、エサ袋も浮かんでいて、これに触ると魚が集まってきたりして、かなり細かいところまで手が込んでいる楽しいアトラクションでした。一番のおすすめです。



ほかにもいくつかアトラクションがありましたが、さすがデザイナーたちを中心に創られたイベントだけあって、近未来的なこれまでに体験したことのないアトラクションが多かったですし、物に乗って遊ぶだけの遊園地とは違って、自ら何かが行動することでその空間に影響を与えて、自分も周囲の子供たちも楽しむことにつながるということを実体験として学べるイベントだと思います。チームラボのHPではイベントを開催しているところやその他の作品についての情報もたくさん載っていますので、芸術の秋、近未来的なアートに触れてみてはいかがでしょうか。(丸林)